

11月24日の初雪は東京では54年ぶりだそうです・・・そんなこんなで、今年ももう師走です  
28年はどんな年でしたか。新しい年は素敵な年でありますように



## 熊本地震報告

NPO法人 チャイルドケアサポートみるく(熊本県)

副理事長 永野 和子

平成28年4月14日 午後9時26分、熊本を震源とする震度7の地震が発生しました。夜間だったことで、みるく病児保育室での子どもの預かり時間外だったため、子どもたちに被害はありませんでしたが、夜が明けて、保育室を見に行くと、食器棚が倒れ、台所のものはほとんど壊滅状態でした。強い余震も続いていましたので、職員の安全を考え、そのままの状態、帰路につきました。

よもや、その日の夜中に、再び「本震」に襲われるとは、その時点では思っていませんでした。4月16日1時過ぎに、再び、熊本を震源とする震度7の地震発生。水も電気もストップして、震災生活の始まりでした。

みるくでは、みるくラインというものを利用して、保護者が困ったときに「SOS」を出せるという仕組みになっています。

16日の6時半ごろから、「どうしても仕事に行かなければならない、保育園が休みのため、元気な子どもだけでも預かっていただけませんか？」のラインが続々入りしました。

熊本市では、保育園も小学校も休園・休校していました。しかし、こんな時(震災)だからこそ、仕事が休めない保護者がこんなにたくさんいるのだということに、驚きました。何とかしてあげたい・・・しかし、水も電気もつかない。そして、もう一つは、食料がない。当法人の理事長と知恵を絞り、知り合いを頼り、食料や水などをかき集め、「みるく寺子屋」と銘うって、元気な子どもの預かりを始めたのは、本震の4日後からでした。

FBで、その様子を紹介すると、日に日に子どもたちが増えていきました。普段は、マックス16名ほどを預かる小さな施設ですから、キャパが足りません。さて、どうしたものか・・・来る日も来る日も、どうするか??いかに、この保護者のSOSに応えるかを考え続けました。ご近所の方や、地域の婦人会の方、また、大学生のボランティアに協力を申し出いただき、最大1日42名の子どもたちをお預かりいたしました。ピッコロさんにも心温まるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。熊本はまだ復興半ばです。みるく病児保育センターも、1棟は震災で使えません。しかし、熊本は必ず復活いたします!それまで、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

ピッコロでは、厚生労働省の緊急サポートネットワークの助成金事業を行っているときに、熊本県の病児保育を行っている永野さんにピッコロの支援者研修会の講師をお願い致しました。熊本からの交通費無しで講義いただいたこともあります。震災があったときに、いち早く支援にあたった「NPO法人 チャイルドケアサポートみるく」さんの力になりたいと少しばかりの寄付をさせていただきました。ピッコロにとって、学ばせていただくことが多いNPOさんです。

11月21日(月)18:30~消費生活センター会議室に於いて、平成28年度臨時総会を開催いたしました。

10月1日よりオープンした小規模保育室概要などの説明が理事長からあり、小規模保育室の補正予算及び事業計画について提案され、異議なく承認されましたことを報告します。

検討事項として、認可外保育室がなくなったことで、今まで利用された方からは、気軽に安心して預ける場所がなくなったという声が聞かれます。アイレックにおいて保育室の活用方法について検討されているとの意見があり、認可外保育室の担保にならないかとの意見が会員からありました。このことについてさらに、正会員のつどい等で課題として話し合いをしていきます。



## 小規模保育室「ピッコロルーム」として開始！

10月3日より認可外保育室から、小規模保育室「ピッコロルーム」として開始しました。これまでピッコロで利用受付しておりましたが、子育て支援課が利用受付となります。12月1日からは、さらに一人入所が決まり、0歳児3名・1歳児4名・2歳児4名の定員がいっぱいになりました。11月までは空き定員で一時預かりのお子さんもおりましたが、12月は定期利用のお子さんのみになります。

入所のお子さんたちは、保育室の生活にも慣れ、美味しい給食を食べて、外遊びも公園の他に連携園の第1保育園の園庭解放で交流させていただくなど、少し大きいお兄さんお姉さんに触れ合える機会もあります。

冷たい風に鼻を赤らめながらも、遊ぶ子どもたちの姿にたくましさを感じているこの頃です。



お迎えの様子



オープンの様子

## 🌸 ホームスタート・ピッコロ

ホームビジター養成講座6名の方が修了しました。7日間(午前・午後)の講座+面談を終えて、ホームビジターとしての活動がスタートします。自分で何か役に立つことがあればという皆さんの思いを嬉しく、また頼もしく感じました。養成講座最終日には、今年度ホームスタートの訪問をしているビジターさんが参加して交流しました。訪問の経験の話が聞けて、イメージが湧いたと修了生は安心していました。



## ホームスタート産前産後支援 ビジター養成講座

平成28年度は、産前産後支援モデル事業としてピッコロ独自事業で行います。オーガナイザー研修に清瀬市の保健師さんが2名受講していただき、また、ホームビジター養成講座においても講義いただきました。

産前産後支援ホームビジターは11名修了しました。妊娠期のお家への訪問が始まります。



## 利用するっきゃないじゃん!(笑)

支援者 藤岡純子

支援者として活動する前に、利用者として十数年間ピッコロにお世話になった私が、今思うことは、ピッコロのあらゆるプログラム「利用するっきゃないじゃん!!(笑)」です。

こんな事があつたらいいな等もどんどん言って、利用して、みんなで助け合う地域!清瀬!『ひとりぼっちじゃない!』と自然に思えるように自分も行動するし、社会のひとりひとりがそのようになるといいな。その利用者さんもピッコロのサービスプログラムを活用していくことが、その一つの方法と思っています。ピッコロのあらゆるプログラムは、多種多様で育児支援やホームスタート、ファミリー・サポートにK-net子育てひろば、そして10月に開設したピッコロルーム等々。遠慮なくご利用いただけたらいいなと思います。

あなたも私も「子育て応援団!」ゆったりと子育てできるサポートを続けていきたいと思っています。

## ピッコロを利用して



利用者 Kさん

私が子育てネットワーク・ピッコロを利用するきっかけとなったのは、現在通っている大学のファミリーサポートコーディネーターの方からのアドバイスでした。私は現在、学生として大学に通いながら今年の5月に出産しました。5月生まれということで出産前から保育園に預けることは無理と周りにも言われていたので、直ぐに大学のファミリーサポートを利用し始めました。しかし、大学のファミリーサポートだけでは保育の方とのスケジュールや長時間預かって頂くため負担が多く大学の講義を犠牲にしなければならない時もありました。そんな時、ピッコロを紹介して頂き、急なお願いでも快く引き受けて下さるし、コーディネーターの方も良い方達だからと勧められました。最初は中々電話出来ずに迷っていましたが、勇気を出して電話しました。実際に登録時にコーディネーターの方とお会いしてお話をしてみると気さくに今の状況や大変さなどを理解して下さい、早速保育をお願いしました。固定とはいかないために日によっては違う方が来て下さるのですが皆さん、子どもが好きという気持ちに溢れた方々で子どもを安心して預けて大学に行く事が出来ました。これからも長くお世話になるとは思いますが、子どもが楽しく遊んでいる姿を確認出来ることは保育をお願いするママさん方には一番の心の安心や支えだと思えます。ピッコロはそんな働くママさん方や一時保育をお願いしたいママさん方に安心して子どもを預けられる子育て支援であり、本当にこの場をお借りして感謝申し上げます。

## ママボノ支援!

ピッコロの行っている事業が利用者さんにとってニーズに沿った支援になっているか、また、他に支援が必要としたらどんな支援かなどを伺うアンケートを行うことにしました。

そのアンケート作成は、子育てしている母親が行う「ママボノ支援」に応募して下さった方々が支援してくださっています。アンケートの結果をみて、ピッコロの中期・長期活動計画作成に活かしていきたいと思えます。



(ピッコロ支援者へのヒアリングの様子)

仕事復帰を目指す子育てママたちが、復職に向けたウォーミングアップと同時に社会貢献活動を行う場、それが「ママボノ」です。

ママボノとは、文字通り、ママたちによるプロボノ(※1)のこと。社会的な問題解決やニーズに応えるために活動するNPOに対し、お金ではなく、今自分に出来ることを活かして支援する活動です。

(※1 プロボノ: 専門的なスキル・経験等をボランティアとして提供し社会課題の解決に成果をもたらすことです。20代~40代のビジネスパーソン、クリエイターを中心に新しい社会貢献の形として注目を集めています。)

《会員状況 2016. 11. 30 現在》正会員 59 名・準会員 152 名・賛助会員 13 名（個人 9 名・法人 4 名）

◇3,000 円以上寄付者・62 名

\* NPO の活動を維持していくため、ぼち袋を作成し、小銭からおいくらでもお気持ちを入れて頂いています。

ご協力をお願いします。

♥賛助会員♥



新鮮こだわりの中国料理

同心居



(株) 関工務店 宇都宮病院 / スガハラ印刷

10 月～11 月の動き	— これからの活動予定 —
○ピッコロ △K-net、つどいの広場 ◆ファミサポ HS=ホームスタート HV=ホームビジター 10/3(月) ◆ガ/アド 調整会議△K-net 運営会議 △つどいの広場調整会議 10/7(金)～11/2(水)◆保育サービス講習会 10/8(土)～9(日)○アイレックまつり手伝い・参加 10/11(火)◆3～4カ月児健診(ファミサポ 説明) ◆近隣市アドバイザー研修会出席 10/14(金)△K-net ひろば ODD ユニット登録説明会 HS 東京協議会普及実践講演会 10/19(水)△K-net リフレッシュ講座 10/20(木)◆全国アドバイザー研修会(理事長発表) 10/21(金)◆全国アドバイザー研修会 10/25(火)○つどいの広場講座 10/27(木)△K-net ニュース印刷 10/31(月)・11/7(月) HS 産前産後ホームビジター養成講座 11/2(水) △K-net 中里ひろば 11/4(金) ○東京都子育て応援事業研修会 11/6(日) ○支援者交流会 於：同心居 11/7(月) △K-net 運営会議 △つどいの広場調整会議 ○第 44 回理事会 11/8(火) ○定例会◆3～4カ月児健診(ファミサポ 説明) 11/11(金)○東京都子育て応援事業研修会 ○ママボノキックオフミーティング 11/12(土)○ピッコロルーム職員会議 11/16(水)○20 周年実行委員会 11/20(日)HV 関東エリアビジターデー 11/21(月)○東京都子育て応援事業研修会 11/22(火)◆スキルアップ研修会 11/23(水)△子育て広場フェスタ ◆子育てフェスタファミサポ登録 11/24(木)○育児支援ヘルパー養成講座(～12/21)	12/1(木)10:00～○正会員のつどい(けやきホール第3会議室) ○東京都子育て応援事業研修会 12/2(金)13:30～○第5回子育て援助活動支援事業アドバイザー 研修「ひとり親家庭への支援」(立川商工会議所) 12/5(月)9:15～ ◆ガ/アド 調整会議(事務所) 10:30～ △K-net 運営会議(事務所) 13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場) 12/7(水)10:00～ △K-net リフレッシュ講座 13:00～ ○ママボノ成果発表&打ち上げ(日本財団) 12/9(金)10:00～ △K-net ひろば(アイレック) 12/10(土)9:00～ ○ピッコロルーム職員会議 12/12(月)13:30～○第6回子育て援助活動支援事業アドバイザー 研修「ひとり親家庭への支援」(東京体育館) 12/11(日)10:00～◆全体交流会(ころぼっくるホール) 12/13(火)12:30～◆3～4ヶ月児健診(ファミサポ 説明) 12/15(木)13:00～○サックスギンギンティ(グリーンステージ) 12/19(月)16:00～◆大分県福祉保健部こども未来課2名視察 12/26(月)13:00～△つどいの広場調整会議(元町つどいの広場) 12/29(木)～1/3(火)は事務所及びピッコロ一時預かりも基本お休み みます。 ご利用ご希望の方は携帯へ電話してご相談ください。 1/5(木)10:00～ ○定例会(アイレック) 1/10(火)13:30～ △K-net 運営会議(事務所) 1/11(水)9:15～ ◆ガ/アド 調整会議(事務所) 1/13(金)10:00～ △K-net ひろば(アイレック) 1/17(火)12:30～◆3～4ヶ月児健診(ファミサポ 説明) 1/25(水)10:00～ △K-net リフレッシュ講座・きりたんぼ講座 (消費生活センター) 1/30(月)9:30～ ○支援者研修会 1/31(火)9:30～ ○支援者研修会 2/1(水)10:00～ ○正会員のつどい

《編集後記》

メディアに取り上げられたので知っている方も多いと思うが、「スマホ」と「子ども」どちらが大事ですか？シンガポールの小学生の作文から生まれた絵本「ママのスマホになりたい」にドキリとした。子どもが小学生だった時、サッカーの応援に行ったら、お母さんは僕のサッカーをみていない。良いところをみて欲しいのに」と子どもに言われたことを思い出した。サッカーの応援に行ったらはすの私は、子どもが頑張っている姿を横目にチームのママたちの話に夢中になっていた。ママたちとの話も必要だが、一瞬一瞬戦う子どもの姿にしっかりと目を向けなければと気づかされた。「ママのスマホになりたい」をネット検索したら、次のような言葉があった。ちよっとだけ、スマホを置いて、子どもの顔をみてみよう。そこには、気づかなかった笑顔がいつばいあるはず。絵本にはママとあるが、ママだけの問題ではなく、子どもと向き合う姿勢を提起してもらったように思った。